獨協医科大学病院

電子カルテシステムから患者情報の管理、デジカメ画像管理まで幅広い機能を有すシステムを希望
費用面でも大変魅力的だった STELLAR を導入

STELLAR 使用風景

導入システム

診療情報統合システム　STELLAR

導入効果

スムーズなシステム更新が実現

ポータルシステムとしては、前システムから使用していた為操作において大きな混乱もなく、システム変更に伴う各現場からの問合せも少なく済みました。

また、前システムと比較しても、見やすい時系列表示、統一感のある操作性や画像の表示速度が高速なため、診察時もスムーズに参照が行えています。

導入経緯

システム更新に伴い導入を決定

当院では院内の文書・放射線画像を一元的にファイリングして閲覧できるシステムが稼動しており、そのシステムの更新に伴い、新しいポータルシステムの導入を検討していました。

アストロステージの STELLAR が、当院の要求を満たす機能を有し、電子カルテシステムからの患者情報や病名・処方、DICOM、レポート機能対応、煩雑になりがちなデジカメ画像管理やタイムスタンプによる電子保存までも機能拡張が可能であり、費用面でも魅力的だったため、導入を決定しました。

その後、近年問題視されている専門医レポートの重要所見の見落とし防止に向けて、既読未読管理システムの導入を行い、2020 年に運用稼働しており医療安全の向上に対しても寄与しております。

各システムとの連携と受診者情報を一元管理できることが決め手に

当院は規模が大きく、現状の運用をシステムに合わせて変更することは簡単ではありません。

アストロステージの STELLAR は、放射線 PACS、放射線レポート、そして現状のスキャン取り込み運用やデジタルカメラ写真、部門システムの画像データまで、メーカを問わず統合が可能だったため、当院の要求を満たせると考えました。また、検体検査や投薬・注射情報、病名情報をカルテから連携出来る機能があり、これまでのポータルシステムと大きく違う点にも魅力を感じました。

前 窪田院長

導入前の課題 Before

- 既存システムの更新に伴いポータルシステムの導入を検討
- メーカを問わない統合が可能なシステムを希望

導入後の効果 After

- 見やすい時系列表示で作業効率が上がった
- 統一感のある操作性で診療がスムーズに

獨協医科大学病院：システム導入時期 / Feb 2017

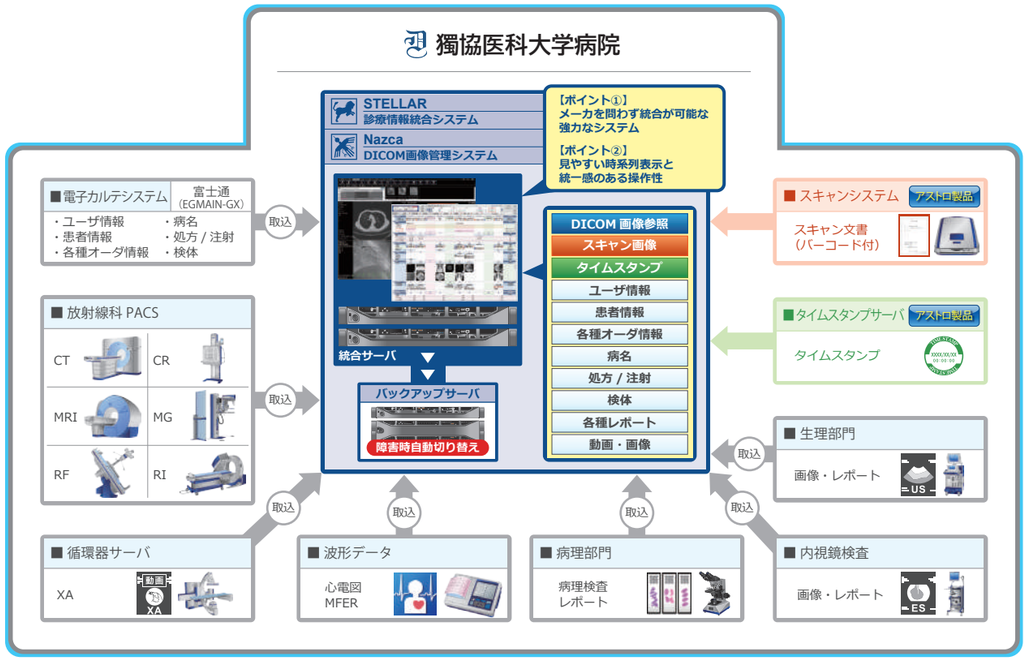
「森の中の病院」と称されるほど豊かな緑に囲まれた当病院は、臨床の全領域にわたる31 の診療科を整備しています。加えて、常時受入態勢を整えハイリスクの妊産婦や極小の低出生体重児に対して周産期医療を提供している「総合周産期母子医療センター」、24時間体制で救急医療を提供している「救命救急センター」、小児医療の中核を担うことを目的とした「とちぎ子ども医療センター」、認知症疾患に対する保健医療・福祉サービスの向上を図るための「認知症疾患医療センター」、PET/CT カメラを備えた「PET センター」、最新・最良のがん治療や情報を提供するために設置された「総合がん診療センター」、栃木県内唯一のドクターヘリ等を備えており、特定機能病院として高度先端医療を担うなど、質の高い医療サービスを提供しております。

所在地：栃木県下都賀郡壬生町大字北小林 880
病床数：1195 床
診療科：心臓、血管内科／循環器内科・消化器内科・血液／腫瘍内科・腎臓／高血圧内科
脳神経内科・内分泌代謝内科・呼吸器／アレルギー内科・リウマチ／膠原病内科
精神神経科・皮膚科・小児科・放射線科・健診センター・病理診断科・小児外科
総合診療科・第一外科・第二外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓／血管外科
整形外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉／頭頸部外科・口腔外科・産科婦人科
リハビリテーション科・形成外科 / 美容外科・乳腺科・排泄機能センター

今後の方針

現在、紙文書のスキャンを手動にて登録しておりますが、紙文書に QR コードをつけることでスキャンの際に自動振り分け機能や、インシデントを防ぐためにも専門医レポートの既読確認機能の運用にも期待したいと思います。

今後の期待・要望

細やかにシステムを調整できる部分に、他社にはない魅力を感じています。今後も運用変更などがあった場合、要求に細かく対応いただける事を期待しています。

システム構成図